



御館中通信

郡山市立御館中学校 学校だより No.24

令和5年8月25日 発行責任者 校長 芳賀 実

<教育目標> 「夢」

<重点目標> 「夢を持ち、その実現のために根気強く学び合い、支え合い、磨き合う生徒の育成」

2学期がスタートしました

35日間の夏季休業が終了し、第2学期が始まりました。

25日（金）は朝の短学活後、音楽室で始業式と生徒集会を行いました。生徒集会では各学年の代表が「夏休みの反省と2学期の抱負」を発表し、市英語弁論大会に出場する宗像さんが、英語弁論を披露しました。久しぶりに見る生徒の姿は、精悍でたくましく見えました。

2学期も保護者・地域の皆さまには、本校教育にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



昇降口脇の大輪のヒマワリ

2学期始業式校長式辞より

連日猛暑が続く中、昇降口脇にあるヒマワリが大人の背丈以上に伸びて、大輪の花を咲かせました。

夏休みが明け、今、目の前にいる皆さん一人ひとりの姿はたくましく感じられ、大輪のヒマワリと重なって見えます。1学期の終業式で「自分で作る夏休みにしよう」という話をしましたが、35日間の夏休みはいかがだったでしょうか。

それにしても暑い夏でした。そんな中、朝の体力づくりや部活動に頑張っていた生徒、自主学習に取り組んでいた3年生、歌舞伎練習への参加など、御館中生としての自覚をもって様々な活動に取り組んでいた皆さんの姿は、本当にすばらしいと思いました。

また、学校以外でも計画的に学習を進めたり、趣味や読書に勤しんだり、家族の一員として手伝いをしたり、原爆投下や終戦に関するニュースに触れ平和の尊さについて考えたり、高校野球や女子サッカー、世界陸上などのスポーツ観戦で感動したりなど、充実した夏休みを送ったことでしょうか。そして、事件や事故無く、今日の始業式を迎えられたことを大変うれしく思います。

皆さんの中には35日間を振り返り、後悔や反省が頭をよぎっている人もいるかもしれませんが、自分ができたこと頑張ったこと成長したことに目を向け、2学期以降の自信につなげてください。

さて、今日から第2学期が始まりました。季節は夏から秋に向かいます。歌舞伎定期公演やみたて祭などの様々な行事を通して「実りの秋」「多くの収穫が得られる秋」にしてください。

そのために大事なことは、一人ひとりが自主的・意欲的に取り組むこと、そして、みんなで協力することです。よく「協力はかけ算」と言われます。みんなで力を合わせることで、何倍もの成果が得られ、それが学級全体や一人ひとりの成長につながります。

もう一つ、2学期に意識してほしいことを話します。御館中の教育目標は何ですか。「夢」ですね。私が好きな相田みつをさんの言葉に「夢はでっかく 根は深く」というのがあります。

自分の夢や目標をしっかりと持ってください。そして、それを達成するために根っ子になる部分を深く、強くしてください。根は目に見えませんが、皆さんを支える土台になります。2学期は「根を深く、強くする」ということを意識して生活してほしいと思います。

では、「根を深く、強くする」ためにはどうしたらいいでしょうか。

会津の民芸品に「起き上がり小法師」がありますが、転んでも倒れても立ち直ります。この起き上がり小法師のように、何度転んでも立ち直るたくましさを養うことで、根は強くなります。そして、失敗を恐れずいろいろなことに挑戦してください。失敗や様々な経験は根を深くしてくれます。

最後に、中学生の時期は思春期と言われ、だれもが悩みや不安を持ち、うまくいかないことも多々あります。そんな時は一人で抱え込まず、友だちや先生、周囲の大人に相談するということが大切です。まだまだ暑い日が続きますので、熱中症予防などの健康管理にも十分気をつけてください。

皆さん一人ひとりが自分の良さを発揮し、さらに成長することを期待し始業式の式辞といたします。



起き上がり小法師